

灌の下に商港實現の運動經過報舉名簿作成を完了せしむる方針告かたゞ、祝賀會を開く筈であつて豫て其準備中であつたが未だ全部の申告を見ず事務進行する事既報の通りであるが、更に小名濱商港實現の確實性を討就き少からず支障を來してゐる據だてる所見も可きものは内務省土木局港灣課長清水良策氏が申告書未提出のものは此際至る日午後七時湯本着列車で來郡急申告されたいと。

# 世界徒步旅行家

## 磐中・平商業學校で講演

### 十五分で一里の道を歩く

世界徒步旅行家として有名な京都市立命館大學出身秋光重之（二界徒步旅行の壯舉を決意して秋光氏は去る大正十四年四月廿七君は北陸、佐渡方面から仙臺の途につき、其後二年八ヶ月の間を経て二十七日來平、同日午前間に日本は樺太島を除く外は全十時平町磐城中學校に於て講演部足跡を止めざる處なく海外をなし二十八日午前十時からはアメリカ合衆國、支那、アジアの大半、マレー諸島、佛蘭平商業學校で同様講演を行つた

小名濱港の實査  
商港實現確實性を帶び  
欣喜雀躍の小名濱町  
去る二十四日の大藏省議に於て  
削除説が傳へられたの時波  
紋を見せた小名濱高港問題は其たが、  
之は全く同問題の前途に  
後上京中の縣船越屬の歸縣によ  
つて全く誤報であつた事が判り  
先づ大丈夫と見當がついたので  
地元小名濱町では漸やく安堵の  
胸を撫で下ろし來月三日午前十時  
平町役場では愈々本月末迄に  
一時から同町小學校で可取寫主明平  
行によるべき衆義完義員の署

甘夕  
日刊  
**東京時報**

新嘉坡石城華平閣總經理十四  
錢銀發行局 印刷局 弘威  
報業公司總經理平陽街十四  
號 印刷所 訂製活版所  
華南石城華平閣總經理十五  
號 行所 銳威時報社  
一部金武錢 一月金免租  
賜告銀一行十四字 贈金五十錢  
金日利(一) 銳威時報社  
發刊

廿八日東京九ビル本社に開く株主総會に提案す やう運動し廿五日委員が再度上京した。總會の結果如何は注目されてゐるが大株主は何れも伊藤専務を擁護してゐるので會社側では爭議が

# 幽靈保險を種 保険料を詐取

▲ 牝馬 検査日割 石城  
最後に聯合體操を終し午後二時半終了したが選手全部に對し錦村長金成通氏からノート一冊づつを贈つた。

問し専務伊藤多兵衛が拵所を今  
朝磐原石城、平野屋、好利十四  
時、刷り人、而田弘成  
印刷所、鉄鋼出版社所  
總務課石城郡平野屋町十四  
番行所、磐原時報社  
一部金貯錢（ヶ月金額）  
露告料（一行十四字諸金五十錢  
会刊（一編、祭日）亦刊  
廿八日東京丸ビル本社に開く株  
主総會に提案すやう運動し廿  
五日委員が再度上京した。總會  
の結果如何は注目されてゐるが  
大株主は何れも伊藤専務を擁護  
してゐるので會社側では争議が  
長引き解決の見込みないやうな  
らば湯本工場を閉鎖する外はな  
いと暗にほのめかしし目下の處  
等の不穏の模様はないが何ん  
騒動なくては納まらぬらしい。  
道は十五分で歩く割合であると  
達してゐる、二十八日は平商業  
學校の講演後午後五時平町を出  
發し茨城縣磯原迄歩行する筈で  
同氏の普通徒步の速力は一里の  
印度、英領印度、シヤム等を踏  
破しその行程實に一萬五千哩に  
達してゐる、二十八日は平商業  
學校の講演後午後五時平町を出  
發し茨城縣磯原迄歩行する筈で  
同氏の普通徒步の速力は一里の  
争議が長びけば  
工場を開き金錢  
業は依然繼續し争議團は結束を  
ため關東合同労働組合支部長  
ト野瀬義氏等は地方の未主の方  
白煉瓦株主の底意  
湯本町品川白煉瓦湯本工場の罷  
作坪刈增收品評會は十一月一日  
から六日間開催の筈で出品六十  
点である。  
△稻作品評會 山田村稻  
米受驗場設置 湯本

# 幽靈保険 保険料 今朝平 元保険

相田松 第三着勿來松  
最後に聯合體操を終し午後二時  
半終了したが選手全部に對し錦  
村長金成通氏からノート一冊づ  
つを贈つた。

圓を横領しもるた事を自白し  
同様被害者は地方に相當ある  
込みで平署では極力調査中で  
るが該當者があつたら平署迄  
し出られ度いと同署で語つて  
た。

あ  
申  
見  
が同家の馬一頭火傷を負  
害三千圓、原因は提燈を置  
れて來たためである。  
▲改修工事検査  
川筋飯野、神谷地内の改修工事は十七日竣工した。之が爲めに方を縣に申請した。

持つてゐたので酌婦勤めをきら  
ひ住み込んで僅八日目の同月十  
九日前借金を踏倒して逃走した  
抱え主は怒いて搜査をつゞけて  
ゐたが此程内郷村に潜伏してゐ  
たのを見つけて連れ戻しトキは  
植田署の説諭をうけたが、本人  
の生立には數奇を極めた可憐な  
事情が存するらしい、なほ同女  
は男にも捨てられ土地にも住み  
憎く再びさすらひの旅をつゞけ  
る事となつた。

今や見頃の紅葉  
川前附近の絶景  
團体客で平驛賑はふ

證書が來ないので本社に紹介  
たため悪事が發覺し二十八日  
平署に捕はれ取調べた處この  
に第一火災海上保険會社の代  
理人

午後十時半頃發火したのを防ぐため、消防組を始め平町其他消防署にかけつけ消火に盡力した。めでたしく、火は止んだ。この事件は、外の住家二棟四十六坪、非住家一棟二十坪を焼失し、同十一寺半蔵の死傷者も出た。

飯野頃繼母が病氣だからとて金策を組駆命せられ止むなく九月十一日に同家前記赤津方に前借金百五十圓で家二酌婦に住み込んだが、トキは以前うち柴田政准と、ふ東部電力

湯本町品川白煉瓦湯本工場の罷業は依然繼續し爭議團は結束をかため關東合同労働組合支部長小野繁蔵氏等は地方の株主を訪問受驗場設置 湯本町運送株式會社では今回穀物輸査受驗場を設置し度いと二十五日認可方を申請した。

百圓の保険契約をなし第一回  
び第二回拂込料二十圓四十五  
を騙取し、又同村大字宮宇町  
星野啓賀と千圓の契約をなし  
一回分二十六圓五十五錢の拂

四棟 かた

# 全 燒 す

同氏の普通徒步の速力は一里の道は十五分で歩く割合であると  
争議が長びけば、工場を閉鎖

てゐるうち遊興費に窮した結果、  
惡心を起し保険方面に精通し  
ゐるため、保険會社員の如く  
ひ本年四月内郷村大字宮字宮  
翠鷗成吉慶軍綴夫曲山福音と

五の果裝  
川越校 第三着勿來校、高男第一着勿來校、第一着勿來校、第三着植田校、川部校、第一着山田校、第二着高女

十五日澤渡村守寺▲二十七日  
田人村黒山市場▲二十八日上  
遠野村市場▲二十九日上小川  
市場

▲美人搜索願  
樽市稻穂町小谷源三郎は妻フミ  
(二十六)が現金及衣類等千數百圓  
を持つて家出し平地方に逃げた  
と言ふので平警察署に捜索方を  
願ひ出でたがフミは頗るつきの  
美人で二十二歳にしてしか見え  
ぬモダン式の女である。

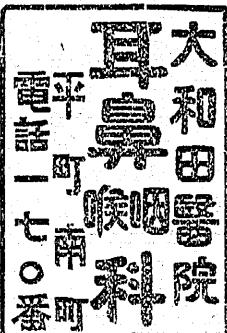
(問) 少々金の入用があつたので、義姉の姉から株券を借入れ、それを兄が他へ廻して正金を都合して呉れたのですが

なりの諒解を得ず、其金を使つて居られることが間違ひの因ですから、兄上に交渉して速かに解決するやう運びをかけらるゝが上策であります。若兄上に金が出来なければ、兄上から其姉に交渉して兄上の借に改め、貰うやうになさるがよいでせう。證書は坂屋して置かなければ後日間違ひの因となります。

拜啓此度近火ノ際ハ早速御馳付被下御  
蔭ヲ以テ類焼ヲ免カレ大事ニ至ラズ誠  
ニ難有奉存候殊ニ其際ハ小生出張不在  
中ノ事トテ一方ナラザル御厄介ニ相成  
申譯モ無之屢段何率不惡御思召被下度  
候實ハ一々拜趨御厚禮申述ベキノ處乍  
失禮以紙上御禮申上候勿々拜具

平町字搔搥小路  
辯護士酒井喜代正

この八月が滿期なので、丁度兄が参りましたゆゑ、元利を計算し、姉に返して呉れと金を渡した處、先日姉から催促があつたので、驚いて兄に聞合せますと、兄は都合上自分が借り居る事ですが、これほどちらに責任がありませうか、證書はまだ姉の手にあるのです。(田中)



移轉開業披露の爲め  
電話七五五番  
平野二丁目(百七銀行前)  
一一一十八日限り  
和洋菓子三割引  
開通近日

ステキに良い石炭をコーケス  
ステキに安い石炭をコーケス  
ステキに理想的な石炭をコーケス  
物は試し是非一俵御使い下さい。如何と廣告よりも  
實物が優れて居るかわかりませうから……

電話三三七番

平驛前 阿部石炭商店

內科、小兒科、婦產科  
院長：渡新  
副院長：醫學博士

外科	皮膚	泌尿科	
外科部長	木村		
婦人科	秋善直		
產婦人科部長	野秋善		
化學的檢查			
試驗部			
衛生試驗部			
主			
任			
醫學博士			
技術			
藥院			
藥劑師			
事務			
吉澤			
本忠			
井桂			
寬太郎			
治			
平町			
電話六四一番			
城共濟病院			
國共濟會員			
診察無料			

◎ 看護婦募集中日会員院入診は何時

最新滋強  
回春劑  
◎適應症  
（腦神經衰弱、ヒステリ、生殖不能  
陰萎遺精、体力増進、新陳代謝等）  
平町專賣所  
平町五丁目角  
山野邊藥局